

平成 31 年度事業計画



ひたすらなるなかみ

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

第二次経営計画にもとづく平成31年度事業計画（アクションプラン）
重点事業

【1の柱】 だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり

- 1 「おめでとう」から「ありがとう」まで滋賀の縁の共感力と現場力の発信
 - ①縁特別会員制度の推進
 - ②広報誌 季刊「ひたすらなるつながり」の発行
- 2 生きづらさを抱えた人のつながりネットワークづくり
 - ①ひきこもり者家族の県域ネットワークづくり
 - ②家族介護者が孤立しない滋賀づくり～要介護高齢者の家族介護者実態調査
- 3 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進
 - ①啓発イベントや広報等による子どもの笑顔スポンサー拡大活動
 - ②子ども食堂つながりネットワークSHIGAの活動推進
- 4 「3.11 えにしの日」と連携した災害時要配慮者支援ネットワークの強化
 - ①滋賀県災害ボランティアセンターの運営
 - ②ユーザーの立場からのマニュアル点検等、「えにしの日」防災活動の推進
- 5 法人化70周年記念誌の企画

【2の柱】 だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり

- 1 縁・共生の場づくり
 - ①滋賀の縁認証・奨励事業
 - ②地域食堂としての子ども食堂づくり
 - ③高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり
- 2 生きづらさを抱えた人と地域の架け橋づくり
 - ①社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり
 - ②社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進
 - ③働きづらさを抱える人の働く場づくり
 - ④教育資金を利用している高校生、大学生の集い場づくり

【3の柱】 「ひたすらなるつながり」を創造実践する「滋賀の福祉人」づくり

- 1 縁アカデミーの創設と、“えにし滋賀の福祉人”育成「縁塾」の開講
- 2 県・大津市・県社協の三者協定に基づく滋賀県社会福祉研修センターの開設
- 3 ふく・楽 cafe による「滋賀の福祉人」確保・定着支援・ネットワークづくり
- 4 福祉用具（介護ロボットを含む）を活用したケアの推進事業
- 5 レイカディア大学の充実と生涯現役レイカディア人材の活動の場づくり
- 6 第38回滋賀県社会福祉学会

【4の柱】 5つの力を磨き、「ひたすらなるつながり」を支える職員づくり

- 1 共感力・発信力・現場力・共働力・つなぐ力～5つの力を磨く県社協職員育成計画の策定と研修実施

【5の柱】 「ひたすらなるつながり」を実現するための活動資金づくり

- 1 はぐくみ基金の広報およびスポンサーの拡大、はぐくみ基金の増強
- 2 縁特別会員制度の広報および会員の拡大、縁基金の増強
- 3 職員のコスト意識徹底による事務経費の節減

1の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり
<p>1 「おめでとう」から「ありがとう」まで滋賀の縁の共感力と現場力の発信</p> <p>(1) 縁特別会員制度の推進 【再掲】</p> <p>(2) 縁共生の場づくりの推進【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">①縁認証・奨励事業の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">②地域食堂としての子ども食堂づくり</p> <p style="padding-left: 20px;">③高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり</p> <p style="padding-left: 20px;">④「えにしの日」の推進</p> <p>⑤ (3) 生きづらさを抱えた人のつながりネットワークづくり【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">①ひきこもり者家族の県域つながりネットづくり</p> <p style="padding-left: 20px;">②要介護高齢者の家族等介護者の県域つながりネットづくり</p> <p>(4) 生きづらさを抱えた人と地域の架け橋事業の推進 【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">①社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり</p> <p style="padding-left: 20px;">②社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進</p> <p style="padding-left: 20px;">③働きづらさを抱える人の働く場づくり</p> <p style="padding-left: 20px;">④ひきこもり者・家族とともに歩む地域づくり</p> <p>(5) 現場で実践する「えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人」づくり 【再掲】</p> <p style="padding-left: 20px;">①気づきを発信し、共働するえにし滋賀の福祉人育成「縁塾」の開催</p> <p>2 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進</p> <p>(1) 子どもの笑顔のスポンサー活動の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">・団体・個人のスポンサー登録の推進 (団体 154→200 個人 38人→70人)</p> <p style="padding-left: 20px;">・はぐくみ基金への寄付の推進 (目標：1,000万円)</p> <p>(2) 地域食堂としての子ども食堂推進</p> <p style="padding-left: 20px;">①子ども食堂つながりネットワーク SHIGA の活動推進</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂交流会の開催 (年2回)</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂フェスタ (年1回)</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂実践者研修会 (年2回)</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂支援担当者研修会 (年1回)</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂保険加入促進事業 (140か所)</p> <p style="padding-left: 20px;">②地域食堂としての子ども食堂づくり (115か所→135か所)</p> <p style="padding-left: 40px;">・子ども食堂立ち上げ資金の助成 (1か所あたり10万円×20食堂)</p> <p style="padding-left: 40px;">・開設準備講座の開催 (7圏域で開催)</p> <p style="padding-left: 20px;">③広報啓発活動の強化</p>	

- ・はぐプロ通信の発行（年4回）
- ・「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」ホームページの運営

㊦・啓発イベントの開催（年4回）

- ㊦ (3) 社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進（11か所→13か所）
- ①他法人との共働によるフリースペース事業の推進（10万円×13か所）
 - ②フリースペース運営者・子ども支援関係機関の研修交流会（年2回）

(4) 社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり

①ハローわくわく仕事体験の実施

- ・協力企業等の新規開拓（145→180企業）
- ・キャリアアップセミナーの開催（小学生向け）（中高生向け）（各1回）
- ・プロフェッショナルセミナーの開催（年3回）
- ・仕事体験、仕事見学の実施

㊦②退所後の居場所づくりと自立支援のネットワークづくり

- ・ほっとスポットの増設（2か所→3か所）
- ・自立支援推進委員会（施設、里親、県、県社協の担当で構成）が核となった、アフターケアの強化
- ・退所後の社会生活にかかる自立相談支援事業との連携
- ・児童養護施設への巡回説明による「そらまめガイド」の活用推進

㊦ 3 要介護高齢者の家族介護者等のつながりネットづくり

(1) 在宅要介護高齢者の介護者実態調査の実施

- ・調査委員会の設置（学識経験者、地域包括支援センター関係者、介護経験者等）
- ・プレ調査の実施

4 ひきこもり者・家族とともに歩む地域づくりの推進（さわらび福祉会との共働事業）

㊦ (1) 家族会とつながるキーパーソン（支援者）のつながりづくり

- ①支援者交流会の開催（甲賀圏域・湖西圏域）
- ②支援者学習会の開催（湖北圏域・湖東圏域）
- ③県域での支援者交流会の開催

㊦ (2) ひきこもり者家族のつながりネット推進

- ①県域での家族交流会の開催（南部・北部）

(3) ひきこもり支援「奏」をモデルとしたひきこもり支援の発信力の強化

- ①ひきこもりフォーラムの開催
- ②ひきこもり者と家族に学ぶ記録集の作成
- ③甲賀・湖南ひきこもり支援「奏」を核としたひきこもりに関する相談支援の強化と県全体への発信力の強化

- 5 えにしの日と連携した災害時要配慮者支援ネットワークの強化
- (1) 県災害ボランティアセンターの運営
 - ①災害ボランティアセンター運営協議会の開催（年2回）
 - ②機動運営訓練の実施（年1回）
 - (2) 「えにしの日」～ユーザーの立場にたった災害時要配慮者ネットワークの強化
 - ㊦①県災害時要配慮者支援ネットワーク会議（年1回）
 - ②各圏域でのネットワークを生かした「えにしの日」の取組み推進（ユーザーの立場にたった計画やマニュアルの点検等の活動を通した学習会）
- 6 権利擁護センター・成年後見サポートセンターのネットワークづくり
- (1) 権利擁護センター・成年後見サポートセンター県域連絡会の開催（年2回）
- 7 しがのボランティア活動ネットワークの推進
- (1) 淡海フィランソロピーネットと共働した、企業・団体の社会貢献活動の推進
 - (2) しがボランティアネット（ホームページ）による広報啓発
 - (3) 教職員介護等体験事業の実施
- 8 県内社協ネットワークによる「ひたすらなるつながり」の推進
- (1) 市町社会福祉協議会との共働による「えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人」の育成
 - (2) 生きづらさを抱える人と社会の架け橋となる事業の推進【再掲】
- 9 「ひたすらなるつながり」発信力の強化
- (1) 広報誌「季刊 ひたすらなるつながり」の発行【再掲】
 - (2) ひたすらなるつながりフォーラムの開催
 - (3) 第38回滋賀県社会福祉学会の開催
 - (4) 研究誌「滋賀社会福祉研究第22号」の発行
 - (5) 2019年度近畿地域福祉学会滋賀大会の開催
 - ㊦(6) 高校生による「ひたすらなるつながり」発信事業
 - ①高校生「ひたすらなるつながり」映像番組自主制作説明会の開催
 - ②映像番組自主制作ワークショップの実施（専門家による指導助言）
 - ③高校生による映像番組自主制作活動助成（10万円×5校）
 - ④高校生「ひたすらなるつながり」映像番組コンテストの開催（発表大会）

1の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり
<p>1 保育士修学資金等貸付事業の実施</p> <p>(1) 保育士修学資金等貸付事業の貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士修学資金貸付 257,781千円 (内、H31新規160人分126,680千円) ・ 保育補助者雇上げ貸付 44,296千円 (内、H31新規10人分27,316千円) ・ 保育料の一部貸付 35,640千円 (内、H31新規60人分19,440千円) ・ 就職準備金貸付 20,000千円 (内、H31新規50人分20,000千円) ・ 預かり保育利用料貸付 1,845千円 (内、H31新規10人分1,230千円) <p style="text-align: right;">計 359,562千円</p> <p>(2) 保育士人材確保事業との連携による制度周知と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育協議会との連携による求職者への情報提供、人材登録の促進 ・ 保育士就職説明会での情報提供 (年2回) ・ 保育所園長会、高校校長会での制度説明 (各1回) ・ 保育所 (10か所)、保育士養成校 (3か所) での制度説明 	

1の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できるネットワークづくり
<p>① 1 広報活動</p> <p>(1) 広報誌 季刊「ひたすらなるつながり」の発行</p> <ul style="list-style-type: none">・発行時期 5月、8月、11月、2月・発行回数 年4回 <p>(2) ホームページを活用した情報の発信</p> <p>② 2 滋賀県社協 70 周年事業に向けた準備</p> <p>(1) 記念誌の企画検討</p> <p>3 社会福祉法人・施設との協働</p> <p>(1) 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による予算要望活動の実施</p> <p>(2) 助成等の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・社会福祉施設整備資金・内藤基金・民間助成事業の調整 <p>4 県社協会長表彰の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・会長表彰式および被表彰者交流会の実施 <p>5 長寿社会福祉センターの管理運営</p>	

2の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり
<p>㊦1 縁共生の場づくり</p> <p>(1) 滋賀の縁認証・奨励事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規 20 団体の認証・奨励 (38 か所→58 か所) <p>(2) 地域食堂としての子ども食堂づくり【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子ども食堂立ち上げ資金の助成 (10 万円×20 食堂) ②開設準備講座の開催 7 圏域 <p>(3) 高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野を越えた法人連携による居場所づくりの推進 (新規 5 か所) <p>2 生きづらさを抱えた人と地域の架け橋づくり</p> <p>(1) 社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ハローわくわく仕事体験の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業等の新規開拓 (138→180 企業) ・キャリアアップセミナーの開催 (小学生向け) (中高生向け) (各 1 回) ・プロフェッショナルセミナーの開催 (年 3 回) ・仕事体験、仕事見学の実施 ②退所後の居場所づくりと自立支援のネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ホットスポットの増設 (2 か所→3 か所) ・自立支援推進委員会 (施設、里親、県、県社協の担当で構成) が核となった、アフターケアの強化 ・退所後の社会生活にかかる自立相談支援事業との連携 ・児童養護施設への巡回説明による「そらまめガイド」の活用推進 ③広報啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレターの発行 (年 3 回) <p>(2) 社会福祉法人等と共働したフリースペースの推進 (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①他法人との共働によるフリースペース事業の推進 10 万円×13 か所 ②フリースペース運営者・子ども支援関係機関の研修交流会 (年 2 回) <p>(3) 働きづらさを抱える人の働く場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①県社協で傍楽体験の実施 (月 1 回) ②他法人との共働による傍楽体験事業の推進 (2 法人) <p>(4) ひきこもり者・家族とともに歩む地域づくりの推進【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦①家族会とつながるキーパーソン (支援者) のつながりづくり <ul style="list-style-type: none"> ・支援者交流会の開催 (甲賀圏域・湖西圏域) 	

- ・支援者学習会の開催（湖北圏域・湖東圏域）

- ・県域での支援者交流会の開催

④②ひきこもり者家族のつながりネット推進

- ・県域での家族交流会の開催（南部・北部）

③ひきこもり支援「奏」をモデルとしたひきこもり支援の発信力の強化

- ・ひきこもりフォーラムの開催

- ・ひきこもり者と家族に学ぶ記録集の作成

- ・甲賀・湖南ひきこもり支援「奏」を核としたひきこもりに関する相談支援の強化と県全体への発信力の強化

3 権利擁護支援を必要とする人の相談支援活動

(1) 権利擁護相談、障害者 110 番の運営

(2) 地域福祉権利擁護事業の推進

2の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる居場所づくり
<p>1 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施</p> <p>(1) 児童養護施設退所者等自立支援資金の貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援費貸付 6,000千円 (50,000円/月×12月×10人) ・家賃支援費貸付 4,800千円 (480,000円×10人) ・資格取得支援費貸付 5,000千円 (250,000円×20人) <p style="text-align: right;">計 15,800千円</p> <p>(2) 社会的養護のもとで育つ若者と社会の架け橋づくり事業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談から貸付・返還・免除までの見守り支援 ・児童養護施設等での説明会 (5施設) ・ファミリーホーム、里親会への説明会 <p>2 生活福祉資金貸付事業および臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施</p> <p>(1) 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金の貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金の貸付 273,446千円 ・臨時特例つなぎ資金の貸付 1,000千円 <p>(2) 滋賀県貸付審査等運営委員会 (定例) の開催 (毎月1回)</p> <p>(3) 生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金の債権管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借受人の状況把握と対応 (居住地調査、督促、債務整理への対応、など) <p>(4) 生活困窮者自立支援事業等関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付相談から貸付後の相談支援 <p>⑦ 3 教育資金を利用している高校生、大学生の集い事業 (モデル実施1か所)</p>	

3の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の ^{ふくしじん} 福祉人」づくり
<p>① 縁アカデミーの創設による“えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人”づくり</p> <p>県内の福祉現場で働く職員の共感力、現場力アップを目的とした、“えにし滋賀の福祉人づくり”研修の推進母体として縁アカデミーを創設する。</p> <p>(1) 縁アカデミー講師団の結成</p> <p>(2) えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人研修</p> <p>①社会福祉職員共通階層別研修（新任、中堅、チームリーダー、管理職）【再掲】</p> <p>②福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりのための専門研修 【再掲】</p> <p>(3) 縁塾・気づきを発信し、共働する“えにし滋賀の福祉人”研修</p>	

<p>3の柱</p>	<p>だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の福祉人^{ふくしじん}」づくり</p>
<p>① 1 滋賀県社会福祉研修センターの開設 平成30年12月7日に締結した県・大津市・県社協の三者協定に基づく「滋賀の福祉人」育成拠点として、平成31年4月開設する。</p> <p>② 2 介護分野で働く「滋賀の福祉人^{ふくしじん}」育成研修 (1) 介護職階層別【新任(3.5日7回)・中堅(3日1回)・チームリーダー(3日1回)・管理職(2日1回)】 (2) (仮称)研修プログラム評価会議(2回)</p> <p>3 介護職員のキャリアアップに資する研修 ① (1) 介護職員チームリーダー養成研修(16日2回) (2) 介護職員実務者研修通信課程(10日)</p> <p>4 専門技術・課題別研修 (1) 対人支援の基本(2日) (2) OJT推進リーダー研修(3日)</p> <p>① 5 えにし滋賀の福祉人^{ふくしじん}研修 (1) 社会福祉共通研修【新任(3.5日1回)・中堅(3日1回)・チームリーダー(3日1回)・管理職(2日1回)】 (2) 福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりのための専門研修【再掲】</p> <p>6 介護支援専門員の法定研修事業 (1) 介護支援専門員実務研修(15日2回・16日1回 計2回) (2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ(9日3回)・専門課程Ⅱ(5日2回・8日3回計5回) (3) 介護支援専門員更新Ⅱ・再研修(10日)</p> <p>7 認知症に関する専門的研修事業 (1) 認知症介護基礎研修(1日6回) (2) 認知症介護実践者研修(8日3回) (3) 認知症介護実践リーダー研修(11日) (4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修(5日)</p>	

- (5) 認知症介護サービス事業開設者研修 (1日)
- (6) 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2日・2回)
- (7) 小規模多機能型サービス等計画作成者研修 (2日・2回)
- (8) 主任介護支援専門員研修 (12日)

8 権利擁護に関する研修事業

- (1) 権利擁護（身体拘束廃止）推進員養成研修 (4日)
- (2) 身体拘束ゼロセミナー (1日)
- (3) 障害者虐待防止権利擁護相談担当職員研修 (2日)
- (4) 障害者虐待防止権利擁護施設従事者研修 (1日・2回)

9 職場内環境改善等に係る出前講座 (60回)

<p>3の柱</p>	<p>だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の福祉人」づくり</p>
<p>1 「滋賀の福祉人」の確保</p> <p>(1) 「滋賀の福祉人」確保・定着支援企画会議の開催</p> <p>「ふく・楽 CAFE」をはじめとする人材確保や定着支援の各取組を効果的に実施するため、甲賀地域でのモデル実施に向けた事業者との企画検討の実施</p> <p>④ (2) 現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽 CAFE」の開催 高校生 (5 回)、大学生 (5 回)、入門的研修受講生 (2 回) 職業訓練受講生 (2 回)、求職登録者等 (6 回) 合計 20 回</p> <p>(3) 福祉職場へのインターンシップ等の実施</p> <p>① 高校生向け「職場体験」(参加目標：20 人) ② 大学生向け「1 DAY インターンシップ」(参加目標：20 人) ③ 社会人向け「トライ・ジョブ」(参加目標：30 人)</p> <p>⑧ (4) 福祉職場見学ツアーの開催 実施回数：1 回、甲賀地域でのモデル実施</p> <p>④ (5) カイゴとフクシ就職フェアの開催 実施回数：4 回 (大津、草津)、来場目標数：500 人</p> <p>④ (6) 介護初心者を対象とした「(仮) 入門的研修」の開催 実施回数：2 回 (甲賀、草津)、定員：各 30 人程度</p> <p>(7) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催 セミナー実施回数：2 回 (甲賀、東近江)</p> <p>(8) センター窓口相談・出張相談、ハローワーク等でのガイダンス、無料職業紹介事業、福祉の魅力発信等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張相談：HW 甲賀、東近江、ヤングジョブ、シニアジョブ、マザーズジョブ ・HW 等での就職ガイダンス：HW 大津、甲賀、東近江、ヤングジョブ ・商業施設内での相談 (保育協議会との合同開催 2 回) ・ホームページや SNS での情報発信 <p>⑧ (9) アクティブシニアの介護・福祉職場への就労等に係る個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルタント有資格者による相談対応等 <p>(10) 介護福祉士修学資金等貸付の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学資金：74 件、実務者研修：185 件、再就職準備金：30 件 	

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 介護の職場合同入職式やフォローアップ研修会の開催による

「滋賀の福祉人」同期のつながりの深化、新入職員のモチベーション向上

①介護の職場合同入職式の開催

実施回数：1回

参加予定者：80人

②新入職員フォローアップ研修会の開催

実施回数：2回、参加予定者：各50人程度

(2) 「えにし滋賀の福祉人」交流会の開催によるネットワークづくり

実施回数：1回

(3) メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

メンター育成研修の実施

(4) キャリア・ライフ電話相談等の実施

3 滋賀県介護・福祉人材センターの運営

<p>3の柱</p>	<p>だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の福祉人」づくり</p>
<p>1 「滋賀の福祉人」の確保</p> <p>(1) 「滋賀の福祉人」確保・定着支援企画会議の開催</p> <p>人材確保や定着の各取り組みを効果的に実施するため、湖北地域でのモデル実施に向けた事業者との企画検討の実施</p> <p>㊦ (2) 現場職員と大学生・高校生等との交流「ふく・楽 CAFE」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校：(2校) ・大学：(2校) ・入門的研修受講者(2回) ・市町主催の就職説明会(湖東2回、湖北1回、高島1回) <p>(3) 福祉職場へのインターンシップ等の実施</p> <p>参加者：高校生10人、大学生10人、社会人10人、実施事業所：30か所</p> <p>(4) 福祉職場見学ツアーの開催</p> <p>大学「ふく・楽 CAFE」参加者、HWガイダンス参加者</p> <p>(5) カイゴとフクシ就職フェアの開催</p> <p>彦根会場2日、長浜(米原)会場2日</p> <p>㊦ (6) 介護初心者を対象とした「(仮)入門的研修」の開催</p> <p>彦根会場1回、長浜(米原)会場1回</p> <p>(7) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催</p> <p>彦根会場1回、長浜(米原)会場1回</p> <p>(8) センター窓口相談・出張相談、ハローワーク等でのガイダンス、無料職業紹介事業、福祉の魅力発信等の実施(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張相談：HW彦根 12回 ・巡回相談：米原市、長浜市、高島市各支所 36回 ・商業施設：2回(彦根・長浜、保育協議会と合同実施) ・HWガイダンス：彦根12回、長浜12回(ミニ就職説明会同時開催) 	

2 「滋賀の^{ふくしじん}福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 介護の職場合同入職式やフォローアップ研修会の開催による

「滋賀の^{ふくしじん}福祉人」同期のつながりの深化、新入職員のモチベーション向上

①介護の職場合同入職式の開催【再掲】

実施回数：1回

参加予定者：80人

②新入職員フォローアップ研修会の開催

実施回数：2回（彦根、長浜）

(2) 縁「滋賀の^{ふくしじん}福祉人」交流会の開催によるネットワークづくり

実施回数：長浜（米原）1回

(3) メンターの育成を通じた新入職員の定着支援【再掲】

メンター育成研修の実施

(4) キャリア・ライフ電話相談等の実施【再掲】

3 湖北介護・福祉人材センターの運営

3の柱	<p style="text-align: center;">だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する</p> <p style="text-align: center;">「滋賀の^{ふくしじん}福祉人」づくり</p>
<p>④1 福祉用具(介護ロボットを含む)を活用したケアの推進</p> <p>(1) 福祉用具展示セミナー・体験会における最新情報の発信(1回)</p> <p>⑧(2) 見守り機器展示セミナー・相談会(1回)</p> <p>⑧(3) 排泄機器展示セミナー・相談会(2回)</p> <p>⑧(4) 移乗支援機器展示セミナー・相談会(2回)</p> <p>⑧(5) 介護業務支援機器展示セミナー・相談会(1回)</p> <p>※(2)～(5)の内容:導入効果実践報告・セミナー、補助金相談会、メーカー相談会</p> <p>⑧2 抱え上げない介護推進事業</p> <p>(1) 抱え上げない介護推進セミナー(1回)</p> <p>(2) 福祉用具(移乗支援)展示セミナー・相談会(1回)【再掲】</p> <p>(3) 抱え上げない介護現場リーダー研修(3日×1回)</p> <p>(4) リフトリーダー養成研修(2日×1回)</p> <p>(5) 抱え上げない介護推進出前研修</p> <p>④3 高齢在宅介護者への介護方法や福祉用具の情報提供・発信</p> <p>⑧(1) 在宅介護セミナー(福祉用具を使用した介護方法や制度利用等)</p> <p>(2) 常設展示 見学受入(団体・個人)・相談</p> <p>(3) 民生児童委員等地域リーダー・専門職への情報発信</p> <p>(4) HP・リーフレット等による情報発信</p> <p>(5) 「小さい福祉用具(自助具等)」出前展示貸出し</p> <p>4 えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人研修【再掲】</p> <p>④(1) 福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるための専門研修</p> <p>①福祉用具基礎研修(1日×1回)</p> <p>②ポジショニング研修(基礎編・応用編)(1日×1回、2日×1回)</p> <p>③車いすシーティング研修(基礎編・応用編)(1日×1回、2日×1回)</p> <p>④抱え上げない介護現場リーダー研修【再掲】(3日×1回)</p> <p>⑤リフトリーダー養成研修【再掲】(2日×1回)</p> <p>⑥福祉用具プランナー研修(養成・更新)(10日×1回)</p> <p>⑦福祉用具専門相談員研修(2日×1回)</p> <p>⑧住宅改修研修(基礎編・応用編)(1日×1回、1日×1回)</p>	

5 介護負担軽減やより良い暮らしのための相談対応 (在宅・施設)

(1) 個別困難事例等への相談対応 (電話・来訪・訪問・改造製作)

※アセスメント・用具選定、使用環境調整等～導入後のフォローまで継続した対応を行う

6 福祉用具センターの運営管理

<p>3の柱</p>	<p>だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の^{ふくしじん}福祉人」づくり</p>
<p>1 現場で実践する「えにし滋賀の^{ふくしじん}福祉人」づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 気づきを発信し、共働するえにし滋賀の福祉人育成「縁塾」の開催 ・県内2か所（南部・北部） (2) 市町社会福祉協議会との共働による「えにし滋賀の福祉人」の育成 社協職員新任研修 <ul style="list-style-type: none"> ②コミュニティワーク基礎研修 ③ボランティアコーディネーター研修 (3) 生きづらさを抱える人と地域の架け橋となるソーシャルワーカー研修 の開催（生活困窮者支援担当者研修） (4) 生活支援コーディネーター研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①第5回滋賀県生活支援コーディネーター養成研修 ②生活支援コーディネーター連絡会議によるネットワークづくり (5) 権利擁護支援担当者研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ①新任職員・生活支援員研修 ②地域福祉権利擁護事業専門員研修会 (6) 障害者虐待防止に関わる人材育成・体制整備の促進 <ul style="list-style-type: none"> ①相談窓口担当職員研修会 ②施設従事者向け研修会 (7) 「えにし滋賀の福祉人」の縁結び・つながりづくり (8) 民生委員児童委員研修の実施 <p>2 第38回滋賀県社会福祉学会の開催【再掲】</p> <p>3 研究誌「滋賀社会福祉研究第22号」の発行【再掲】</p> <p>㊦ 4 2019年近畿地域福祉学会滋賀大会の開催【再掲】</p>	

3の柱	だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の福祉人 ^{みくしじん} 」づくり
1 生活困窮者支援を進める人材の育成 (1) 生活福祉資金実務研修の実施（年1回） (2) 生活福祉資金担当者研修の実施（年2回）	

<p>3の柱</p>	<p>だれもが「ひたすらなるつながり」を創造実践する 「滋賀の福祉人^{ふくしじん}」づくり</p>
<p>1 レイカディア大学卒業生「地域の担い手」5,000人のストーリー発信 (1) 同窓会、サポート隊との協働による、卒業生の地域での活躍の発信 (2) びわこシニアネットの運営及び情報発信 ・ボランティアによるHP更新：月1回以上</p> <p>2 レイカディア大学の充実（専攻科、各種認定講座の創設、学科の改編等） (1) レイカディア大学開催事業 草津校・米原校での地域の担い手として活躍するための支援 (2) レイカディア大学運営管理 ⑨ (3) リカレントコースの創設（レイカディア講座の改編） リカレントコースの創設 42期：30、41期：12名 計42名 (4) 専攻科の検討</p> <p>⑩ 3 生涯現役レイカディア人材の活動の場づくり (1) レイカディア大学の認知度向上の取り組み 卒業生とのレイカディア大学フェスタの協働開催による外部発信 レイカディア大学・シルバー作品展・ねんりんピック出場選手など レイカ事業全体で取り組むフェスタ (2) 短期（認定）講座の実施 資格取得講座の開設 シルバー作品展の活性化のための出品準備講座の開催等 (3) 卒業に向けたサポートの強化 地域の団体との学生の交流の場づくり</p> <p>4 高齢者の健康と生きがいづくりの推進 (1) ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会 27種目開催 (2) 全国健康福祉祭和歌山大会へ滋賀県選手団の派遣：140名 (3) シルバー作品展の開催：450点 (4) レイカディア運営管理事業</p> <p>5 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施 (1) 在宅介護者実態調査の実施 ・調査票の作成・プレ調査の実施</p>	

4の柱	5つの力を磨き、「ひたすらなるつながり」を支える職員づくり
⑨ 1	5つの力を磨く県社協職員育成計画（仮）の策定と計画に基づく研修の実施 (1) 研修体系・プログラムの策定 策定時期 8月 (2) 研修プログラムの実施 開始時期 8月以降 5つの力（発信力・共感力・共働力・つなぐ力・現場力）を磨く 専門性を磨くための外部研修への職員派遣

5の柱	「ひたすらなるつながり」を実現する活動資金づくり
<p>1 はぐくみ基金の広報およびスポンサーの拡大、基金の増強</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 広報チラシの配布(2) 広報誌、封筒、研修資料等既存資料やホームページを活用した広報(3) 企業、事業所への訪問活動(4) 淡海フィランソロピーネットを通じた企業会員の呼びかけ(5) 商業施設等におけるPRイベントの実施(6) 職員によるスポンサー拡大活動 <p>2 縁特別会員の広報および会員の拡大、基金の増強</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 広報チラシの作成、配布(2) 広報誌、封筒、研修資料等既存資料やホームページを活用した広報(3) 施設、事業所、企業等への訪問活動(4) 淡海フィランソロピーネットを通じた企業会員の呼びかけ(5) 施設協議会等の会議等での説明・広報(6) 職員による会員拡大活動 <p>3 事務経費の節減による活動資金づくり</p> <p>職員のコスト意識の徹底により事務経費の節減を行い、節減により生み出した自主財源を縁基金に繰り出す。</p>	